

## CABA工法 日鉄建材（株）

- NETIS登録番号：KT-170056-A
- Made in 新潟登録番号：30D1001

既設の鋼矢板護岸の腐食部分に対して、ステンレス製のパネル材を用いて補修する工法です。パネル材と既設鋼矢板との間に充填されたコンクリートにより既設鋼矢板を延命します。

軽量なパネルを使用しているため施工性に優れており、農林水産省による「農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【鋼矢板水路腐食対策（補修）編】（案）」にも当工法が掲載されています。

### 特長

- 水位の変化がある「干満帯」の部分的な腐食に対して最適な補修工法です。
- FW1<sup>\*</sup>を使用した軽量で高耐久性のパネルです。  
※正式名称はNSSC<sup>®</sup> FW1 14Cr-Sn-LC,N：日鉄ステンレス株式会社の「省資源・高性能ステンレス鋼」
- 施工が簡単です。
- 経済性に優れています。
- 期待耐用年数は50年です。

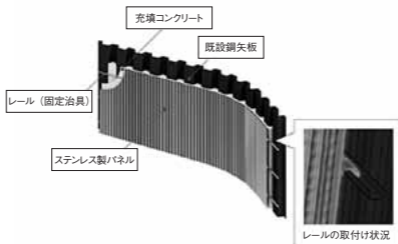
### 製品仕様

- 板厚0.8mmの軽量なステンレス製パネルです。
- 1枚の重量は7.4kg～14.0kgです。
- 1枚のパネル幅は65cmで持ちやすい！
- 現場ごとに高さのご指定が可能です。

パネル材  
幅650mm×高さ2000mm  
重量：約14kg/枚

### 構造仕様

- レール（固定治具）は、現場溶接にて既設鋼矢板に接続します。
- 施工時の隣り合うステンレス製パネル同士はリベットによって現場締結を行います。
- ステンレス製パネルの設置後、既設鋼矢板との隙間に充填コンクリート打設し、補修完了です。



ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。